



えんだより



2022年7月
吉野幼稚園

主 題：「いのちの言葉」

聖書のことば：「互いに愛し合いなさい」 (ヨハネ福音書15：12) (13：34)

月日の経つのは早いもので、つい先日、始業式や入園式をしたと思っていたら、もう学期末が近づいてまいりました。いよいよ7月です。今年の夏は例年以上に蒸し暑くなりそうだという予報も出ております。また、コロナウイルス感染症の予防もあり、例年以上に、健康管理に気を遣うことになりそうです。各家庭でも、熱中症の予防やコロナ対策（毎朝の検温、手洗いうがい）など、十分ご配慮いただきますようお願いいたします。

さて、当園で取り入れているモンテッソーリ教育では、「敏感期」という言葉がたびたび出てきます。「敏感期」とは、子どもが、何かに強く興味を持ち、集中して同じことを繰り返す、ある限定された時期のことです。たとえば、子どもが静かだな～？ と思って見てみると、箱からひたすらティッシュペーパーを引っ張り出している。この行動は、実が世界中のこの年代の子ども、だれもがするものらしいです。これを見つけたママは、「静かだと思ったらこんなはずらをして～!!!」と言いながら、ティッシュの箱を取り上げて、棚の上にあげてしまう。そして子どもは、地団太を踏んで泣きわめく。これも世界中で繰り返されている光景です。

まさしくこのことが、敏感期の一つです。実は、1歳から3歳くらいまでの子どもは、手根骨の発達に伴い手の骨格が出来上がり、3本の指がうまく使えるようになります。この出来立ての手を使ってみたい、うまく使えるように練習したいという強烈な衝動にかられる「運動の敏感期」にあるのです。目と手が一緒に動くことを通して、脳細胞が急激に活性化してシナプス（神経細胞へ信号を伝える接合部）が急増している、とても大切な瞬間なのです。単なるいたずらとしてティッシュの箱を取り上げてしまうのと、この行動の背景と重要性を理解して心ゆくまで引っ張り出させてあげるのでは、180度結果が違ってきてしまうのです。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

7月のねらい

- Aグループ ・夏の自然に触れ合い、興味や関心をもち、遊びに取り入れる。
- Bグループ ・友だちと夏の遊びを経験し、楽しさを十分に感じる。
- CDグループ ・友だちや、異年齢児と一緒に、夏の遊びを思いきり楽しむ。
- つぼみ ・水、砂、泥などに触れ、夏の遊びを楽しみ、開放感を味わう。